



1 明北小 4 年社会科『地域の五ヶ用水巡り』 10 月 28 日・11 月 6 日



五ヶ用水の歴史を学び、地図で確認した子どもたちは、自分の目でも確かめたいと、学校から比較的近くを流れる水の探索に出かけました。「これが五ヶ用水か!」と、初めて知る子も多く、地図で見る用水とつながったようです。翌週には、他方面に出かけて、用水が集落よりも高い所をゆるやかに通り、地域の田を潤していることを、自分の目で見て感じてきました。地域の方たちが、年に 2 回用水の整備をして、維持しているという話も聞くことができました。事前に学習した、用水工事に関わった人々の大変な苦労の逸話も、頭の片隅におきながら見学できました。

担任は、10 月初旬に、外部講師をお招きした職員研修で五ヶ用水を探索しています。その際の学びが、今回の学習に活かされました。

2 明北小・明南小『明科地区小学校特別支援学級交流遠足』10 月 31 日(金)



「交流会を通して、両校の児童が親睦を深め、共に活動することのよさや楽しさを感じる」ことを目的に、二校の子どもたちは、「信州スカイパーク」「松本市立博物館」への遠足に行ってきました。少し肌寒さはありませんでしたが、予定通りの日程で行うことができました。みんな元気に、“おもしろ自転車や遊具”で遊びを楽しみ、“博物館”では、見学をしたり体験したりすることができました。いつも関わっている友だちとは違う人とも関わり、いい刺激になったようです。

3 明北小全校『たてわり散歩』（児童会健康委員会企画） 11月7日（金）

児童会健康委員会の企画で、『全校たてわり散歩』が行われました。最終的に、8つの班で希望した目的地（範囲は学校から1km）は、「原の公園」「かんだち山」「廃線敷」「浄化センター」です。目的地によっては、その場所で楽しみたいことも考えました。笑顔いっぱい、思う存分楽しんできた子どもたちです。

6年生を中心に、各委員会で様々な企画にチャレンジしています。「こんなことやりたい！みんなで楽しみたい！！」そんな思いが持てることも素敵ですが、実現に向けて挑戦し続ける子どもたちであることが素晴らしいですね。



今日は、健康委員会の『たてわり散歩』でした。今までの明北小にはない、初めての企画です。健康委員会がたくさん考えて、実行しました。全校の様子としては、その子なりにいろいろと楽しめたり、リラックスできたりした時間だったように感じました。しかし、初めて行う企画です。不手際もありました。目的地の決め出しが上手くいかない、準備品が書かれたプリントを配り忘れる、終わりの時刻が全校児童に周知されていなかったために、少しストレスを感じてしまった人たちがいるなど…。では、この企画や活動はダメだったということなのでしょうか？

私は、ステキな失敗ができた、意味ある活動だったと思います。そして、ある先生が「6年生が提案してくれて『今回やってみた』ということが大事。そうやって、種まきをしてくれる人がいなかったら、この先にも起こらないから、今回のたてわり散歩は、価値のある活動だったと思う。」と話してくれました。

自分たちがやりたいと思ったことを、自分たちでやってみる。（もちろん、周りの人の助けを借ります。）そして、失敗が許されて、その失敗がよい学びになる。そんな学校が、明北小というところなのだな、と思いました。（6学年だよりから）